

昭和三十九年三月二十五日招集（第八号）
第一面市議会定例会之議錄

館山市議会第一回定例会之議録(第八号)

昭和三十九年三月招集

三月二十五日(水曜日)

一 議事日程(第八号)

第一 議案第六十六号 館山市農業協力員設置条例の一部を

改正する条例の制定について

第二 議案第六十七号 収入役の選任について

第三 議案第六十八号 乗用車の購入について

第四 議案第六十九号乃至第七十二号 予算審査特別委員会委員長報告

午後二時十七分 開会

議長(黒川佐太郎君)本日のお席議員数 三十一名

第一回市議会定例会第八日の会議を開会いたします

会議日程についておはかりいたします。

本日の会議に議案第六十六号、六十七号、六十八号の三件が追加議案として送付されました。

こゝで本日の日程に追加し直ちに議題といたしたいと思ひます。こゝに於て異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君)異議なしと認めます。よつて日程は追加をいまいた。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行なひます。

日程第一議案第六十六号を上程いたします。

(書記朗読)

議案第六十六号 館山市農業協力員設置条例の一部を

改正する条例の制定について。

秘書課長(小倉澄男君)議案第六十六号につきまゝて説明

申し上げます。

本件は本議会の前段におきまして、中審議をお願いいたしまして、非常勤特別取のベース改定でございます。本日はで遅れておりますので、ただいま追加上程いたした次第でございます。

非常勤の特別取にならういまして、一割のアップを提案した次第でございます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（黒川佐太郎君）中審議なしと認めます。よって本案は、こゝにて質疑と打ち切り、討論省略原案通り可決するにや、異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（黒川佐太郎君）異議なしと認めます。よって本案は、原案通り可決さういたします。

日程第二議案第六十七号を上程いたします。

(書記朗読)

議案第六十七号 収入役の選任について

市長(本間譲君) 収入役の選任につきまして、課長から選任をすすめてありましたが、ちょうど昨年五月に十文名の選取をしていただきましたので、いろいろ検討してみましても、恩給その他、関係がありまして、少し早いというふうなことに、なりまして、部外からとも考えましたが、今まで功勞がありまして、矢野君を、実際に願ひすること、が、もつとも、妥当でないか、こういう観点から、まして、矢野君を推薦申し上げるわけでございます。よろしく、審議願ひします。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君) 中質疑なしと認めます。よって本案は

これにて質疑を打ち切り討論省略可決するに依り異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君) 異議なしと認めます。よって本案は、原案通り決まりました。

日程第三議案第六十八号を上程いたします。

(書記朗読)

議案第六十八号 乗用車の購入について。

総務課長(山口実君) 議案第六十八号について説明申し上げます。

現在本市には乗用車として二台ございますが、現在の状況では非常に乗用車が不足している中で、今回随意に契約によりまして千葉プリンスからプリンスグロリア・スポーツ・ミックス一九六四年式一台購入しようというものであり

ます。

・三九番(鈴木市蔵君)主管課長にお伺いいたします。館山市は乗用車を購入する場合、いつもプリンスワゴンですが、市としてプリンスの工場に対してどんな関係がおありでありますか。この点が一つ、

それから、ニッサン・トヨタというふうないろいろなメーカーがございますけれども、このメーカーの見積り、或いはその自動車に対しての能力等がプリンスとどう違うのか、あるいはまたほかの会社から見積書を取りまうたか、この点も伺ってみたいと思います。

・統務課長(山口真君)この自動車を買うにつきまうては、一応運転手がもつとも使いますかということ、過去の実績から非常に運転手の方といえまうても、プリンスの車が使いますか。そういうことでプリンスを

漢考一たうでありますが、ほかの会社からは、見積りも取りませんでした。

・二九番(鈴木市蔵君)ただいまのや、説明では、彈転手が使うのだから都合がいいのを買った。一てみれば、ニッサンとかトヨタとかはかうメーカーは、彈転やエ合が悪いんですか、答弁が足りないと思うんですが、

・総務課長(山口実君)実際に使う彈転手を使いいいということでもって一応、彈転手や意見等を考慮して買いました。

・二九番(鈴木市蔵君)さっき答弁と同じなんだ。これは買おうというのは、彈転手ではなくて、館山市が買う。これに對してもう少一研究して見た方がいいが、研究一ま一たかというところ、研究一ませんという。課長さん考え方が違っていると私は思うんですが、

・総務課長(山口実君)その点につきま一ては、彈轉手を一て

研究の上求めたわけでございます。

研究といえますと、やはり過去に使った運転手の意見、今後買おうとする性能、そういうものは、運転手に見させてあります。

・二九番（鈴木市蔵君）自動車購入について助役さんと約束してあるんですが、新車を求めて車を下に出してそうして早目に求めた方がいいんじゃないかということも約束してあります。今後、場合は、自動車を新車に求めるんですが、それとも下に出してかわったものを購入するんですか。この点、助役さんに伺ってみたいと思います。

・助役（小出武男君）今度の場合は、新車を入れます。二台を三台にするという形です。さらに新車を買って、適当なときにある程度経て交換したらどうか、ということも、確かにつつ、方法であると思います。

カー・中承知り通り自動車は価格が最近変化を
てきておるわけでございます。それともう一つは市にある自
動車、そのものが少ないためにそういうことができないで、
現在までおったわけでございます。

さらにまた現在買っておりますが、性能がよいと申しま
すか、当りまゝでいゝもって非常に程度がよく運転
をしておるようなわけでございます。ですから今回、
場合は新しく、やすさらに今ありますのもうももう
一手位は完全に使える。こういうことで更新措置をや
らぬいわけでございます。

○二九番（鈴木市蔵君）ただ今、中承弁で一応了解いた
たんですが、ラジオを買うにもテレビを買うにも現金
で幾らとか月賦で幾らとかというような価格があるわ
けですが、プリンスがどう位、会社でまけまゝなわけ、こ

点を伺つてみたいと思ひます。いつもいいなりで買つて
おる。

。助役（小出武男君）今度の場合には非常に市で要求を付け
まして専門的なことは私さうわかりませんが、注文を付けま
して件数にして十カ所位は補修といひますか、そういう
ことを要望してござひます。

それで価格の面でござひますが、百三十八万五千円という見
積りであつたんですが、これを押しに押しまゝで百三十万
円にさせようと努力したんですが、いつたんそれで買ったん
ですが、本社で相談した結果、それでは絶対にできないと
いうことで三万円ほどこちらでひっ込みまゝで、ここにあ
ります百三十三万という点で、落ち着いたやうで、結局当
初は要求より五万五千円がひまゝで、さらにそれに加へ
て、こつちの要求を十数件加えさうしたというのが、現況

でございます。

。ニ番(鈴木正一郎君)自動車を購入についていろいろお尋ねがありまして、大体了解いたしましたけれども、市ではこのプリンスの下取り価格、ガソリンの消費量、その他細かいことについて研究をなさった上でのことでございます。市内には、ニッサン、トヨタ、その他業者もおります。

市役所で購入されます場合は、プリンスにまかるとも方らないところ、立派な国産車があるのでありますから、場合によつては、永年プリンスをやはり愛用なさっているかもしれません。各業者の立場というものをよく考慮をしまして、車を運転手だけの意見にまかせずに取りかえて見る必要はないものでございましょうか。

なお、これに関係したことで、修理をどのような工場でもりになつてゐるかお伺いしたいと思います。

・総務課長（山口実君）修理の件でございすが、修理はプリン
ス、代理店の大和会社であつております。

それから指導でございすが、私も素人でございすが、
一応考えているが、自動車の走行距離、キロ数に對す
るガソリンの消費量、並びにそれに要する修理費、う
つたもの、いつも監査委員の方から指導を受けており
まして、そういうことをいつも申し上げております。完全に
そういうことを実施していないが、今後、もうそういった面で指
導していきたいと思ひます。

・二番（鈴木正一郎君）今後十分考慮していただきたい。特に
考慮をうけていただく点は、業者というものが、ほかに
もございますから、十分その点は考慮は入れていただきた
い。それから、車庫の修繕、そういったものに關して、も
小さな修理は無理でありますが、大きな修理という場合

は、業者の各見積りを取つてやるという考えも必要ではなからうかと考えます。

○七番(田村源治郎君)プリンスグロリアは乗用車として国産品では最優秀でありますけれども、この買入れに対して百三十三万で買つて中の設備としてクーラー、暖房、ラジオ、そういうものを付けて百三十三万であるが、それに伴う修理、それは何年間の保証契約を乗用車に対しては、二カ年であるが、この二カ年の保証をどう程度まで契約されているか、また備品としてどのような備品を付けてあるか、またサービスとしてどのようなものを自動車に付けるかということをお伺いしたいと思ひます。

・総務課長(山口実君)サービスとして見積つた額が五万九千円になっております。

さらにクーラー、そういうものは全部この自動車についてある

わけです。それから修理は今後一切市でもってやる考
えてございます。保証期間は新車については普通

の場合ですから契約二年サービスでもってやっていただ
きます。特別の事故でない限りはやっていただきます。

七番(田村源治郎君)自動車を買う場合には必ず一カ年
保証とか三カ月に対するときには金額保証をするとか
というふうにきめられてゐるはずだ。

その点不明朗な点があるからその点をほつきり。

八番(山口実君)一応契約は三千キロまでの間に起きた
時期に保証してございますが、特別に起きた事故につ
いては、その都度両者で話し合つてゐたいと思ひ
ます。

九番(田村源治郎君)三千キロといいますが、三万キロをいいますか。
間違ひないですか。

・総務課長（山口実君）申しわけございません。キロ数についての制限ですが、一応二万キロ期間につきまゝでは一応一年を限度として本契約いたしたいと思います。

○三番（菊井敏博君）プリンスグロリアは乗用車として最適でございしますが、百十五万で買えるものを二十万以上高い値段を払って冷暖房というふうなものをなぜ付けなければいけないのかという点が一点。

今まで二台も買わなくても足りない。一台ふやすとこの程度に仕上がるか。三つ目にだけ専用車か、またどうようにしてこの車を使うのか。

・総務課長（山口実君）一応市長の乗物にしてそれ以外に利用があれば使用したいと思っています。

プリンスグロリア、シグナスは冷暖房施設をついたものは、交渉価格で百三十八万五千円、それを五万五千円引いて

もうたわけです。

それから、利用度の関係でございしますが、現在二台しかございせんが、教育長あたりが出る時も或いはほかの委員会でも出る時に車の制限を受けているわけでございます。現在う状況にりますと、ますます車の需要が多くなります。議員の方々が雨の降るときは送り迎え、そういう車に持っていくたい。その点をカバーするため。

。二三番(中村省吾君)ただ今、いろいろ質疑があつたんですが、自動車の運行について課長さんや客弁でございしますが、この自動車購入に当りまして議員の降つたときや送り迎えという言葉を使わいた。そういうことをしてもらつたことはい。

この自動車を購入したために、そういうことは必要ないと思ふ。私は議案を見まして一台なるほど思ふうはそういう角度

からではないわけです。

私どもが今まで市で自動車を買ってもらいたいと思うのとがたびたびあるわけです。——カー。その都度自動車はない。従って使えない。

私どもが自分たちの所管事項の、例えばし尿処理場について見たいとか、そういう用事がたくさんあるわけです。

そういう場合にも自動車が全然使えない。今後そういうようなものに、少しでも使えるということを望んでこういうものに賛意を表するわけでございます。

私どもがこの議会に雨が降るから送り、迎えしてもらおうという気持は全然ない。そういう気持で私どもに提案なさるのなら、反対いたします。その点もう一ぺん、御答弁を願います。

・助役(小出武男君)ただ今、市意見ですが、課長、失言でござ

いますのでおわびをいたします。

中承知り通り、二台では非^常に不便であるということは取
買もまた皆さん方もお認めの方であらうと思います。

県内々各市を見ましても二台で乗用車をやっていると
ころはむしろ館山市位だろうと思います。市もほかの
清掃車とかそう他の車に追わねまして余儀なく本自
までおたんですがいりう仕事も忙しくなつて参ります
で、機会に一台や協賛を得て買いたいということ
でございます。二三番議員さんの言われた通り
でございます。

先ほど言ふことは失言でございしますから私からおわびいたし
ます。

議長(黒川佐太郎君) 本案に対する質疑はこれにて打ち
切り、討論省略原案通り可決することに異議あり

ませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君)中異議なしと認めます。

よつて本案は原案通り可決さうした。

日程第四議案第五号乃至第十二号並びに議案第五十七号を一括して議題といたします。

こゝより予算審査特別委員会における審査の経過並びに結果について委員長が報告を求めます。

(三五番議員松本藤太郎君登壇)(拍手)

・三五番(松本藤太郎君)委員会より報告を申し上げます。
去る十九日の本会議におきまして予算審査特別委員会に付託となりました。議案第五号乃至第十二号、昭和三十一年度館山市一般会計並びに特別会計及び議案第五十七号館山市建設計画の変更につきまして

委員会におきます。審議を経過し、並びに結果について、市
報告申し上げます。

委員会は三月二十一日、二十三日の両日招集いたし、皆様の
御承認を得まして、委員長は、不肖私がつとめるこ
とに御まゐりました。

本予算案に対し、ましては、十八、十九日の本会議におきま
して、かつて見られなかつたと思われ、程々活発なる御意見
見、御質疑によりまして、終体的な審議は、ほぼ、な
されたものと思ひますが、本間施政もいよいよ、第二年月
を仰之、施政方針として打ち出されております。三大施
策である、「産業の振興」、「観光施設の整備充実」、「
教育施設の整備拡充」とその内容充実もその緒に
ついて来たと思ひます。

加えて、極めて財政規模の乏しい本市が、前年度より

引き続きしております。館高工業課程併設の問題、国民休暇村の設置、農業改善事業、事務機構の改革、実施という大事業の遂行を期す上にさらに本間市長さんの構想たる、十萬都市の建設、市民福祉の向上にいかんとして応え得るか、又市勢発展の基礎を依り出すかという観点から論議も活発かつ、広汎多岐にわたり、極めて慎重に検討されているのであります。

以下、委員会におきます質疑応答等整理いたし、まとめてその概要について申し上げたいと存じます。

まず、支出総務費負担金中、県立安房南高、房南分校に対する四十万月はどのような性質のものか。

世界友の会の負担金一万月、これは姉妹都市関係の費用だと思ふが、こゝの活動状況について質問に対して、房南分校に対する負担金は、こゝの分校設立については

地えで金を出すからという要望で県において設立したもので、その当時、状況から致し、まして市としては、分校がある限り出すべきだと考えております。

次の姉妹都市ベリンハムとの活動状況でございますが、現在は学生、交換等を自発的にやっておりますが、将来は産業、或いは教育、文化、交流にまでもっていきたい旨の回答が、ありました。

次に市勢振興調査委託料十五万円計上されているが、本会議の席上、三月末までにまとまるといふことを言われたが、三月で完了出来るのか、又、その結果、三十九年度に予算を繰り込んで事業をやっていくのかと、質問に対し、当初十二月までに調査を完了し、三十九年度事業の参考に資する方針であり、また、追加の調査が出て、参り、遅れておりますが、一応三月末までに結論は、

まともな事になっております。

「カー」直ちにそれを三十九年度予算の中に繰り入れる
ということではできないと考えておる。少くともその結果を十
分検討して四十年年度あたりから具体化していきたい旨の答
弁がありました。

次に民生費について保育園の園長は福祉事務所長が兼
務しているが、これでは十分なる指導監督ができないというこ
とで父兄は非常に不安をもっているが、これに対する抜本的
な対策をどう様に考えておられるかとの質問に対し、
園長の兼務ということはいかに良いとは思われないが、
その為に重大な支障を来たすようならば別ですが、現
況はどうかやっておるわけでございます。

然し事務改善の実施とも関係して研究していきたい
との答弁があった。

衛生費におきまして、二百万円、医療センターの負担金でございしますが、本会議において自治法上疑問があるのではないかという質問があったが、その答弁が完全でなかったら、改めて執行部の見解を承りたいという質問に対して

本件については、厚生省、県においても援助するということで差支えないと思っております。

ただ、どのような形で支出するかという点で、県に照会いたしましたところ、館山市の方法でよろうということとで、一応了解を得た旨の答弁がありました。

次に、焼却炉土地購入費に百万円計上されているが、これは、この地区を何坪位予定しているのかという質問に対し、現在豊房地区の市有地を予定しており、大体、五百坪乃至七百坪を考えている。なお、市有地だけでは足りない

ので、隣接の私有地を話し合いによって買収したいという
答弁があった。

労働費中失業対策費の賃金百五十八万一千円が計
上されておるが、何人、人夫を一日幾らで使っているのかとの
質問に対し、一日平均八・七人程度、総延人員三、五二二
人、一日三百九十九円支払っておりますが、四月一日からは、
十%増の四百五十円を見込んでおるとう回答があり、また
農林水産費において、農業構造改善事業推進に关
して今後多くの難関があると思われるが、そつ一つとし
て分散所有している土地を集結させると思うが、その土
地の交換について、

第三点で、二、三反の農家、離農を考へないと耕地
の集結は出来ないと思うが、こゝう見解、

第三点として三千二百万円、基盤整備の計画外の費

用が千三百万かかる。しかも補助の対象にならぬといふ。聞いてゐるが、これに對して市は助成してゐるか。

また基盤整備に伴つて大きな融資を受けるが、それに對する利子補給を市は考えてゐるか。

四点として、基盤整備によつて三又の田を作つていくと、水の量が倍加すると思う。従つて頼りは中央ダムであるが、これがいつ完成するか。又完成までの間水利の問題についていかに考えてゐるか。以上四点の質問に對し、

第一点の土地交換の問題は本事業推進上最も困難な問題と考へてゐる。現在のところ具体策はありませんが、基盤整備完了後、各人の持分を基礎とした配分計画といふものが出てくるわけですが、これには市と地元と関係者で配分計画委員会という様なものを設置して十分納得のいく話し合ひをしていく所存であります。

第三点の離農等の問題については、現在個々の農家につきまゝで、勇力の問題、経営上の問題等、詳細に調査を行なつてゐるので、その結果に基きまゝ四月中旬頃までに一応の結論を得たい旨の答弁があつた。

第三点の事業費外の費用の点については、今度の基盤整備の総事業費が四千六百四十万円で約六十六、八万歩でございます。そのうちにこの千三百万円の電柱移転等の諸経費が含まれており、この千三百万円にも七割補助の対象となり、いわゆる総事業費の七〇％が概算三千二百万円ということでございます。なお、非常に大きな融資額になるわけで、市として当然、利子補給を考へておりますが、近代化資金の利子補給と同様にするか、別にするかは、まだその結果は出ておりませんけれども、出来るだけ助成したい旨の答弁があつた。

第四点の用水の關係でございますが中央ダム完成まで、つなぎとして現在ありますニヶ所のセキ、地下水のくみ上げによつて何とかおこるといふ結論づけが、土地改良事務所でおさへてありますので、これで、さつて参りたいと答弁があらうた。委員会といふまゝでは特に本事業は農業の大改革であり、これが成功するか、否かによつて今後、館山市の農業発展に重大な影響があると思おはるので、市当局におかへても、本事業の重大性にかんがみ、この推進には、慎重に十分納得のいく施行に留意されるよう強く要望いたしまして。

商工費につきまゝて中小企業融資予託金が二百万円増額されているが、この利用状況、並びに期間、利息について、質問に対し、

市が予託した三倍の額が貸し出し、ワウでございまして

本年度は現在まで六十九件、千四百八十万円という状況でございす。うち、最高限度額は、五十万円で期間は一年以内、利息は二銭八厘である旨の答弁があつた。

観光費に關連して海岸にある建築物の国有地不当占拠問題の見通しについて承けたいという質問に対し、この問題は市には権限がなく、県の出先である土木出張所で扱つていただくことになっておりますが、市の観光に密接な關係をもつものであり、又、国定公園事業の問題にもからんでおるわけでございます。とりこわし、話し合いが一応ついております。ただ夏の貸付場所をきめていただいて、そこへ建築物を運ばせてもらいたいという業者の要望がございまして、そういう方法で進めていく旨の答弁がありました。

土木費におきまして市営住宅の払い下げについて何年位たったか、その対象になるか、又払い下げという問題に付

て当局はどのような考えをもっておられるかという質問に対し
払い下げの対象としては袋と年数が二十年と定めてお
りましてその四分の一を経過したときのことになってお
ります。但し実際問題としては払い下げは原則としてや
らないという見解を厚生省は取っております。

但し住宅がいたみ、市で修繕してもどうしても維持が
出来ないという場合に限って払い下げをするという線
でやっております。答弁があつた。

消防費中、消防施設費において貯水池等工事請負費
の内容について質問に対し、この施設予定のものには有
蓋の貯水池一ヶ所、無蓋のものが一ヶ所、横穴式一ヶ所、
川止め一ヶ所を考えている旨の答弁があつた。

教育費におきまして給食の問題について現在給食を実
施している学校は一部分であり、今後これが義務化されると

用いておるが、その時に一時に設備施設を予算化することは困難と思うが、除々にやつていくのが根本的な考えをとお伺いしたいとの質問に対して、中説の通り、学校給食は最近義務化の方向に向かつており、委員会としてもその必要性は十分認めらるゝことで、長期計画の中に入れて考えたけれども、全部入らない状態でございます。現在においては、小中学校全部に予備的な手段として牛乳給食を行なっているが、さらに義務化の問題と関連して早い機会に実現できるような努力する旨の答弁があつた。

次に、中学校の需用費について市長は、P、T、A会費軽減のため、二百五十万円、需用費の増額をしたと表明されているが、本年度予算をみると、消耗品費、燃料費等減額されておる。これは全く市長の方針に相及するものであり、逆にP、T、A会費の増加を未だす。恐れが

あるが、この減になった理由について説明願いたいという質問に対しては、中指摘の通り、消耗品、燃料費等減額しておりますが、これは事務改善により一括購入し、委員会から各学校に配分する関係上一割見当安く購入できるので僅かですが減額いたしました。

しかし乍ら、需用費総体からみれば、市長方針の通りまして実質的に小学校において二百十萬八千五百円、中学校において百九萬一千円、大幅な増額をしております。これによつてP・T・A会費が軽減は出来ると確信しております。なお三十八年度のP・T・A会費より減額していいところには、会費軽減に充たされる二百五十萬の増額分は配分しないという強い方針で進めておる旨の決意表明がありました。

本委員会といたしましては、毎年相当額の需用費が増

額をいかに下し、P・T・A会費が減額されないことに、かんがみ、当局においてはP・T・A会費使用の実態を把握し、その監督指導に十分留意するよう強く要望いたしました。なお、お手えに配布いたしました需用費関係の資料は、本委員会が提出させたものでありますので、中参照願います。

次に又入市税において滞納繰越が各項に亘つてあるが、この徴収見込と、

熱務手数料中、自動車臨時運行手数料の内容について、第三点衛生処理手数料が非常に高いと思うが、この軽減廃止の意思はないかと、質問に対して、

滞納繰越分の徴収につきましては、一人一人の事情が違ひまして非常にむずかしい問題であるが、一応本年度三六％位の徴収率にまでもつていきたい旨の回答がありました。

自動車臨時運行手数料というものは、自動車の便ナンバーの
発行手数料でございします。

次に衛生処理手数料につきまゝでは、県下各市の状況を参
考にして決定したものでありますが、今後なお、単価の問題等
については、審議会において検討して方針を立てたいと、答
弁があつた。

次に特別会計公益質屋において現在の状況が続けば、市長
は、これにかゝるべき融資の方法を考へると言われたが、
三十九年度において処置されるかとう質問に対して、
公益質屋において毎年相当赤字が出るならば、別個の
方法を考へていきたいと思う。出来れば三十九年度後半
あたりで、処置したい旨の答がありまゝだ。

国民健康保険で保険税の増嵩に対し、市民は十分
納得していないと思うが、この周知徹底についていかうに

していかこの質問に対して。

市の広報は、勿論あらゆる機会をとらえて周知徹底をはかりたい。

例えば部落の会合等には、積極的に出席して十分納得のようように国民健康保険の現況について話し合いを行いたいという表明がありまゝだ。

簡易水道会計において鉦切水道を敷設するについて各家庭の個別負担金は幾ら位であるか。

国民休暇村に引く場合、個人と同様に負担するのか、という質問に対して。

個別の負担は大体二万円程度と考えております。

ただし、これは本管工事のみでありまして各家庭に本管から引き出すものは別で、これが大体四五千円かかると思う。又休暇村の負担というものはつきまゝでは望みがないと考えます。

し、かゝるやりとりで、二百万円程度起債をふやしてもう
うということ増額をいたしております。

尚、これも本管工事に対してでありまして、本管から休暇
村の施設に引き込む分につきまゝでは、負担をいたいた
旨の回答がありました。

休養施設におきまして需用費中、印刷製本費、修繕料
と鉋切神社借上料の内容について、説明願いたいとい
質問に対して、

●印刷製本費は鳩山荘の宣伝用パンフレット一万部代
十万円、修繕料は鳩山荘の内部のふすまとか障子、壁
等を計画的に逐次やっていくのが費用であります。次の鉋切
神社の借上料は夏季、主として鳩山荘で収容していただく
生を社務所を借り上げて収容しているのが、借り上げ料で
ある旨の回答があった。

次に議案第五七号、館山市建設計画の変更につきまして
は、昭和三十九年度、館山市入支出予算で十分検討さ
れたわけでございます。付託を受けました議案第五号乃至
第十二号及び議案第五十七号は、いづれも原案通り可決
すべきものと認めました。次でござります。

最後に本委員会といたしましては、本会議、委員会を通じ
て指摘された幾多の問題に対し、

市当局は真剣に研究、検討し、より以上の財源の確
保に努められ、もって市民福祉の向上と市勢発展の
ために市民の公僕として完全なる予算執行をはから
るよう強く要望いたします。

以上をもちまして本委員会にまします審査の経過並び
に結果について、中報告申し上げた次でござります。

(拍手)

議長（黒川佐太郎君）以上で委員長報告を終りました。

ただ今の委員長報告に対する中質疑ございませんか。

議長（黒川佐太郎君）質疑なしと認めます。以上で委員長報告に対する質疑を終りたいと思います。こゝに於て異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（黒川佐太郎君）異議なしと認めます。よつて質疑は終りました。おはかりいたします。

本案に対する討論はこれを省略することに於て異議ありませんか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（黒川佐太郎君）異議なしと認めます。よつて討論は省略と決まりました。

こゝより議案第五号乃至十二号及び議案第五十七号を一括して採択いたします。

本九議案に対する委員長報告はいずれも原案可決であります。

本九議案を委員長報告通り決定するに於て異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君) 異議なしと認めます。よって議案第五号乃至第十二号並びに議案第五十七号昭和三十九年度一般会計並びに特別会計予算案及び建設計画はいずれも原案通り可決されました。

議事日程についておはかりいたします。

本日の会議に請願書一件及び議案第六十九号が付議されました。この二件を本日の日程に追加し直ちに議題としたいと思ひます。

これに於て異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（黒川佐太郎君）異議なしと認めます。

さうして日程は追加の要はない。

暫時休憩いたします。

午後 三時十二分 休憩

午後 五時十四分 再開

議長（黒川佐太郎君）休憩前に引き続き会議を開きます。

本日の会議はこゝにて延会といたします。

次回は来る三月三十日午後二時開会といたします。

その議事は本日に引き続き請願書及び議案第九十九

号の審議といたします。

午後五時十五分 延会

本日、会議に付した事件

一議案第六十六号

館山市農業協力員設置条例の一部を改正す

る条例の制定について

一議案第六十七号

収入役の選任について

一議案第六十八号

乗用車の購入について

一議案第六十九号乃至第七十二号

予算審査特別委員会委員長報告

一議案第七十三号

館山市建設計画の変更について

一議案第七十九号

館山市議会全委員会条例の一部を改正する条

例の制定について

一請願書

出席議員

吉田勇治郎

鈴木正一郎

小柴 孝

館石 伝蔵

秋山大三郎

田村源治郎

望月照正

安西益男

辻田 実

石井 正

黒川佐太郎

菊井敏博

志村信作

小沢恵太郎

関 武夫

西村真次

藤田好治

保科忠夫

江田徳太郎

君塚喜三

中村省吾

島野茂樹郎

鈴木 孝

嶋田 繁

山田教宇

鈴木市蔵

安藤亀吉

安沢徳順

三沢 節

高橋文治

山本

昇

松本藤太郎

山口

康

久席議員

田中祿郎

萩生田七郎

金

山

市

市

市

市

市

